



総会で挨拶する原田完会長(上)と数田均男事務局長

# 不屈

(579号付録)

京都版 第446号

2022年9月15日

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
京都府本部

〒604-8832

京都市中京区壬生下溝町  
51-41

(電) 090-8575-9851

fax 075-325-3863

ホームページ <https://kokubai-kyoto.com/>

## 京都府本部 第37回総会を開催！

京都の同盟運動の  
更なる発展・強化を！

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟京都府本部の第37回総会が9月10日長浜バイオ大学京都キャンパスで開催されました。部屋の換気、マスクの使用、換気の良い部屋など、コロナの感染拡大に十分注意して行われました。

最初に原田完会長が、最近の情勢と高まる同盟の役割を強調し開会のあいさつを述べました。

メッセージは、治安維持法同盟の中央本部と近畿ブロック各県の会長、国民救済会の京都府本部長、新社会党京都府本部委員長、日本共産党京都選出の衆・参議員から寄せられました。

講演は、本庄豊さんで、テーマは「山本宣治とその時代〜京都治安維持法犠牲者名簿出版の意義」でした。

議案提案の後、討論は活発に行われ、支部からの「伊藤千代子の生涯」の上映運動と、それに結合した会員拡大の決意が語られました。

討論の後、活動報告と方針、会計報告と予算、監査報告を承認し、役員を選出しました。

会長に再任された原田完会長が代表して決意表明を行い、総会は終了しました。

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

京都府本部第37回総会  
へのごあいさつ

府本部会長 原田 完

今日の総会は大変政治的危険な動きが強まっている中での開催となりました。自民党岸田内閣は、安倍首相の銃撃事件を利用して国葬を強行しようとしています。安倍元首相の評価も「もりかけ問題」や「桜を見る会」など、その究明もない中で国葬を政治的に利用しようとしていることが明らかです。国葬に対する世論調査は、はじめは国葬に賛成が多かったが、旧統一協会・勝共連合問題がマスコミで各種報道が行われる

ようになるとなると国葬反対の声が大きくなっていきます。旧統一協会・勝共連合の違法無法な行為は70年代から今日まで続いてきました。反共で自民党の別動隊として利用し、違法無法の活動を行ってきました。旧統一協会は自民党政権に接近することによって大学内で原理研究会の名称で近づき、正体を隠しながら広告塔としての期待を持って癒着が行われたのではないかと。この問題では自民党と旧統一協会・勝共連合の関係をなぜ癒着が生まれたか根源的関係を党として明らかにすることが求められます。

税減税、インボイス問題、ロシアによるウクライナ侵略など後手に回っている。経済金融政策の失敗による急激な物価高騰。上がらない給与と異常なインフレ、原発の再稼働と新增設、私たちの暮らしはより一層厳しい状況にあります。市民との共同で政治を変え、市民のために国賠同盟の民主主義の原点を守る組織としての活動でその一翼を担うことが求められています。

2月に闘いの半ばで逝去された前増本会長が、国による謝罪と賠償、人権の回復と治安維持法問題解決を繰り返して言われていたように、2025年は治安維持法から100年となる今日、私たちの運動は社会的にも求められる運動であり、二万人同盟建設が求められています。京都府本部の現状は、コロナ禍で若干の減少状況にありますが、会員拡大を成功させる総会です。今年私たちの運動は知事選・参議院選と続き、「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯の映画上映が取り組まれ、亀岡での上映を皮切りに、「平和のための京都の戦争展」での上映、宇治・城陽で上映会と多くの市民に鑑賞いただき、大きな感動を与える取り組みとなっています。この上映の成功を力に、中央が提起しています「2万同盟実現」・「治安維持法体制の決着」をつける活

動に向け同盟会員拡大をやりきろうではありませんか。

### 77回目の終戦記念日 不戦の誓い新たに

2022年8月15日  
河原町四条で宣伝!

8月15日は終戦記念日です。国賠同盟京都府本部は、当日四条河原町で宣伝活動を行いました。(写真下)

1945年8月15日、天皇制政府は、ポツダム宣言を受諾して連合国に降伏。15年戦争では国内310万人以上、アジアで2000万人以上の犠牲者を出しました。先の参院選では、9条改憲をたくらむ勢力が多数を占めたことで、改憲議論の推進を表明しました。侵略戦争の過ちを繰り返さないよう、不戦の誓いを新



たにしましょう。ロシアはウクライナから直ちに撤退を！軍事費2倍化の大軍拡にストップを！ロシアがウクライナに侵略してから6カ月以上が過ぎました。いまこそ「ロシ

アは侵略をやめよ」一国連憲章を守れ」の一点で世界の政府と市民社会が団結するときです。自民、公明、維新、国民などがウクライナ危機に乗じて「軍事費2倍増」「敵基地攻撃」「憲法9条改悪」の大合唱です。軍事費2倍化の大軍拡をストップさせましょう。

#### 〈日本国憲法第9条〉

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達するため陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

### 第37回総会で選出された府本部役員

〈会長〉原田 完

〈副会長〉佐藤 和夫

三原 哲

〈事務局長〉藪田均男

〈常任理事〉

杉山 勉 藤原 元幸

水口 武夫

〈理事〉

有元 美津子 河野 暉夫

川久保雄二郎 小林 東一

白子 譲 田口 克己

谷口 公洋 林 森一

松村 満行 水谷 文信

吉田 容子

〈会計監査〉

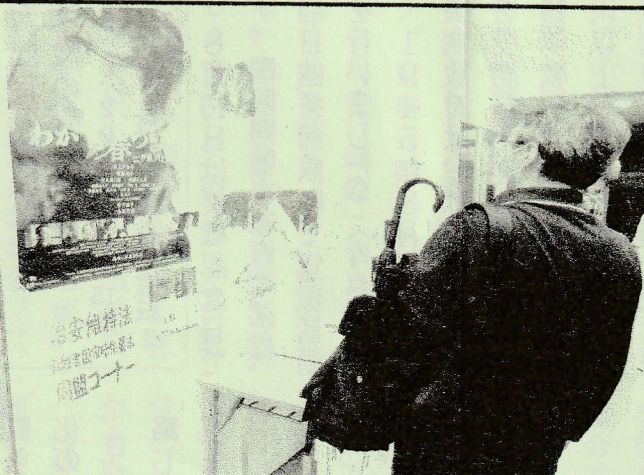
大江 六夫 木村 充

〈会計〉杉山 勉

〈顧問〉

前窪 義由紀

国賠同盟の資料展示のコーナー



# 日本の国はふたたび 戦争しない 固く誓いました 戦争反対、心より訴えます 「平和のための 京都の戦争展」

が開催されました！

「平和のための京都の戦争展」が、7月31日から8月7日に長浜バイオ大学京都キャンパスで開催され、約1500人が参加されました。主催は「平和のための京都の戦争展実行委員会」で今回で42回目を迎えます。

文化企画として、あくまで平和な合唱団の合唱組曲「悪魔の飽食」。

福知山の平野力さんの「関東軍兵士として対ソ戦で戦った経験」。

核兵器廃絶ネットワーク京都の学生対話企画「核兵器をどう思うか↓現代の若者に聞く」。日朝協会学習講演会の「日朝の平和友好につ

いて考える」(勝村誠立命大教授)、京都平和遺族会内藤玲子さんの「戦争が終わるときに満州五族協和の成れの果て」「戦没者遺族のおかれた戦後と遺族運動」。平和友の会の「宇治のウト口地区について学ぶ」、子供を守る会の紙芝居「オマールさんを訪ねる旅」「ぞうさんたちの死」などが企画されました。

治安維持法国賠同盟は、展示、書籍販売のほかに映画上映を行い、5日、6日の午前午後、二日間4回にわたり、映画「わが青春つきたるとも」を上映し約500人が参加され、入会者2名、国賠署名70筆、書籍販売2万円が寄せられました。



映画上映会で挨拶する原田完会長

## 9条京都のつどい

ご案内!

- 10月1日(土) 午後2時
- 会場 龍谷大学響都ホール (京都駅八条口アバンティール9階)
- 講演 「新たな改憲情勢と私たちのとりくみ」 (仮題)。
- 講演は一橋大学名誉教授・9条の会事務局の渡辺治さん。